

平成31年度 事業計画書

平成31年4月 1日から

平成32年3月31日まで

学校法人唯心学園

1. 法人の概要

名称 学校法人 唯心学園（昭和62年1月5日法人設立）

代表者 理事長 竹川 秀彰

住所 八尾市竹淵5丁目82番地

電話 06-6709-6648

FAX 06-6707-2189

設置する学校

住所 八尾市竹淵5丁目82番地

名称 認定こども園 竹淵幼稚園

役員 理事 6名 監事 2名

評議員 13名

理事会 2回開催

評議員会 2回開催

職員 25名

2. 事業概要

（竹淵幼稚園）

《教育方針》

思いやりを育てる。健康な体をつくる。義務教育の基礎となる体力、学力を修得させる、豊かな情操を養う

《教育内容》

園庭ランニングを実施、知能ワーク、身体・体力測定を定期的に行い、段階に応じて指導。造形・体操教室を外部教師により実施。ECCパペット英語を導入する。年長組にはスイミングスクールにて水泳指導を実施

1・2号子ども

	3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定員	2	50	2	60	2	65	6	175
29年度	2	47	2	49	2	44	6	140
30年度	2	50	2	55	2	50	6	155
31年度	2	42	2	54	2	53	6	149

3号子ども

	0歳児	1歳児	2歳児	園児数計
	園児数	園児数	園児数	
29年度	0	6	8	14
30年度	0	6	8	14
31年度	0	6	8	14

《保育時間》

1号園児 月～金曜日 午前9時～午後3時20分

※第1・3土曜日 午前9時～午前11時20分

※2号・3号は 月～土曜日 午前7時30分～午後6時30分

《公定価格》

利用者負担金 1号、2号、3号認定ごと、各市で定められた額

《上乗せ徴収》

行事費 年額12,500円(年長児のみ)

環境維持費 月額1,000円

《実費徴収》

通園バス費 月額3,000円(片道利用者 半額)

給食費 月額4,400円

(2号主食 月額1,200円)

《その他の費用》

入園準備費 20,000円

教育環境費 10,000円

《預り保育の内容及び費用》

月～金曜日 午後3時～午後5時 最終午後6時30分

(夏15日、冬2日午前8時30分～午後5時)

1日 300円(月15日以上の場合は4,500円) 5時以降追加料金必要

《行事实施状況》

遠足、日曜参観、プール遊び、お泊り保育(年長)お楽しみ会、秋の遠足、運動会、作品展、クリスマス会、発表会、ひなまつり会、お別れ遠足

《施設関係》

園地面積 1,048㎡ 運動場面積 965㎡

《設備関係》

全教室に空調設備 エレベーター1基

《計画内容》

平成27年度4月より子ども子育て支援新制度がスタートしたが、当園は平成28年度から幼稚園型認定こども園に移行し運営している。新制度移行が進み、平成31年度は213園が私学助成で事業を継続している。

そのような状況下、園児数は、1号126名、2号25名、3号14名の8学級165名のスタートとなる。

新年度は、通常国会に内閣府より、子ども・子育て支援法の改正案が提出され、10月より幼児教育の無償化が実施される。については、保護者の園を選ぶ判断基準が一層「教育内容の充実」にスポットが当たり、預かり保育の時間の延長を希望することが想定される。

一方、教職員採用が極めて厳しい状況になっているので、安定した教員組織を維持することができる園が、持続可能な園であり、運営の最大のテーマになって

きている。新卒の採用については、短大の減少が進み、4年制大学の養成校からの採用が中心となり、就職希望の3年生が対象となってきている。故に、一般企業と同じ土俵での採用競争となっている。また、保護者対応、増加傾向にある特別支援児への対応、クラス担任として自信が持てないと考える応募者が多く、募集をしても少数の応募となってしまっている。様々な対策（募集時期の前倒し、教育実習の積極的な受け入れ等）を可能な限り取り組んではいるが、その効果が上がっていない。インターンシップも有効な対策ではあるが、アルバイトとして園の日常の営みを実際に体験してもらうことを通じて採用を考えていく方法も実施していく。

園児の将来像の調査では、女の子の多くは、幼稚園の教諭を志向しているのに、大学進学時にまでその気持ちを持続することが出来なくなっている。国を挙げて、幼稚園教諭の楽しさ、やりがい等仕事への夢を掻き立てるような取組みを着実に進めていくよう幼稚園連盟を通じて全日へ働きかけていきたい。

そこで、事業活動収支計算書では、教育活動収支の部では、教育活動収入計が142,282千円、教育活動支出計が156,900千円となって、教育活動収支差額は14,618千円のマイナスとなる。また、教育活動外収支差額が458円のマイナス、特別収支差額が0千円となり、経常収支差額（基本金組入前収支差額）は15,076千円のマイナスと厳しい経営状況となる。資金繰りは問題ない。

また、来年度の園児募集については、1号子ども40名の園児確保を予定する
《収支予算》

別紙